

交流で笑顔いっぱい  
の東広島市

乃美尾小学校  
五年 中森 実里

このたび、わたしは自分の住んでいる東広島市の未来について考えてみることにしました。考えたテーマは「交流」です。なぜテーマを交流にしたかというところ、未来の東広島市に交流の場が増えると、笑顔ももっと増えると思うからです。

まず、日々の生活の中で、どのような交流があるか、また、そのよさは何なのかを考えてみました。

一つ目は、お年寄りとの交流ができていることです。例えば、私たちの学校では、低学年で「昔遊びの会」、中学年で「ホタルかごづくり」、高学年で「田植え」など、地域の「お年寄りの方に教えていただく」という交流の場があります。また、地域では、地区に分かれて小さなお祭りがあり、私たち小学生も笛を吹いたり、太鼓をたたいたりして、様々な年代の人が交流をすることがあります。わた

しは、こういう交流でいろいろなことを学ぶ  
ことができ、楽しませてもらっているなど感  
じています。

二つ目は、職場体験など、中学生との交流  
ができています。先日、わたしのクラ  
スには、黒瀬中学校から中学生が職場体験に  
来てくれました。一緒に勉強したり、遊んだ  
りすることができました。中学生のドッチボ  
ールでの素早い動きをみておどろいたり、わ  
たしたちの跳び箱の学習の準備をしてくれる  
姿を見て、感謝したりしたことを覚えていま  
す。

いろいろな交流で笑顔も増えているので  
が、問題もあります。それは、コロナウイル  
スなど感染症の流行がいまだに続いているの  
で、お年寄りなどとの交流については、引き  
続き気をつけながら行わなければならいとい  
うことです。もちろん、以前はもっと制限が  
あり、できない行事も多かったのですが、楽し  
い行事も行われませんでした。それに比べると

少しずつもとにもどってきてはいます。しかし、お互いの健康を守るために、気をゆるめることはできません。ここの部分を気を付けながら交流を行っていく必要があると思います。

また、ようち園、保育所などの小さい子との交流が少ないという問題もあります。わたしには小さい弟がいるので、この問題もクリアして弟にも笑顔が増えるといいなと思います。

次に、これからの交流について考えてみました。これからは、まず、赤ちゃんからお年寄りまで様々の年代の人が気軽に参加できる場所ができればいいと思います。それは、交流館などの建物でもいいし、公園のような広場などでもいいと思います。そこで、いろいろな年齢の人が集い、楽しめるようなイベントを企画できればいいなと思います。例えば、お年寄りと小さい子がいっしょに読書をする「読み聞かせの会」、昔の遊びを教えてもら

つていっしょに遊ぶ「昔遊びの会」、また、  
小さい子の運動会や学習発表会にお年寄りを  
招待したりすることもいいと思います。そう  
いうイベントに、中学生などもボランティア  
として参加してもらうと、笑顔も増えると思  
います。もちろんその会場では消毒などの感  
染症対策をしっかりとっていることアピールし  
た上で、みんなが安全に暮らせるようにする  
ことも忘れずに行うことができればいいと思  
います。

今後、このようなイベントが行われたら、わ  
たしは、ボランティアで積極的に参加したい  
と思っています。そして、自分だけではなく、  
家族や友達などにもすすめて、交流の場を広げ  
ていきたいと考えます。

未来の東広島市が、もっと人との交流が増  
え、お年寄りから赤ちゃんまで、笑顔あふれ  
るまちになってほしいと思います。